

【資料】和光市 2 か月児チェックのご案内（ご協力の埼玉病院の先生方へ）

2 か月児チェックは、もともと、わこうキッズでワクチン接種開始の 2 か月児を対象として行っている取組みで、令和 6 年 4 月より、和光市とすこやかかわこうが連携して行う取組みとして、スタートしました。

- ・すこやかかわこうでは、2 か月児の問題のスクリーニング
- ・ネウボラ課では、親の心配事や負担のサポートに重点を置いている

1) 市の乳幼児健診と同じような扱いとなります

- ・健診票への記載、要フォローのチェック、健診医師の署名
- ・紹介状は可能（乳幼児健診の紹介状と同様）
- ・授乳や児の扱いに関する悩みはネウボラ課対応にチェックを入れる
- ・問題が心配される場合は、市の乳児健診より丁寧な、すこやかでフォロー
- ・2 か月児チェックは保険医療の対象ではなく、カルテ記載は不要となります。（とりあえず、受診のメモは電子カルテに残し、健診票はコピー）

2) 2 か月児チェック 令和 6 年度のデータ

- ・対象は月 50～60 人程度ですが、この 1 年の受診人数は低いままです。
- ・対象計 568 人 受診 98 人 (17.7%) すこやかフォロー 35 人 (6.2%)
- ・そのため、対象の 1/3 は、わこうキッズで同様な対応を継続しています。

問題点	令和6年度6～3月		令和6年度9～3月	
	すこやか	%	わこうキッズ	%
受診者数	98	17.7	161	40.6
仮死・NICU・LBW	17	17.3	23	14.3
発育	2	2.0	17	10.6
授乳	29	29.6	73	45.3
頭蓋変形	24	24.5	92	57.1
反り返り	14	14.3	20	12.4
睡眠問題	9	9.2	12	7.5
母貧血・兄弟睡眠問題	16	16.3	68	42.2
小計	111		305	

3) 2 か月児チェック この取組みで重視していること

- ・赤ちゃんの問題の早期発見と要フォロー児への対応、専門医への紹介
- ・親の子育てに対する意識を高めるタイミング。1 才まではとても大切な時期
- ・親に寄り添い、親の負担をなくして楽をさせるだけでは、不適切
- ・親が学習し、適切な親に育てなければ、立派な子は育たない
- ・社会適応や発達の障害も含め、将来の問題を早期に可能な限り消して行く